



学力が向上しています！

12月に2回目の学力調査にチャレンジしました。その結果を近日中に子供たちが持ち帰ることと思います。今回の結果は総じて「学力向上の取組が成果につながった」と言えると思います。具体的に申しますと、昨年度の平均点より全校で10点以上上がっています。また、レベルの高い全国平均点を上回った学年、教科がいくつか出てきました。

今回の学力調査は市販（東京書籍版）を利用しています。

勿論個人差があり、思わしくなかったお子様もいることとは思いますが、個人票をお渡ししていますので、まず頑張っているところを褒め、課題についてはどう改善していくのか寄り添いながら声をかけてあげてください。

成果が上がったことについて私なりに分析してみますと、この1年間子供たちやご家庭、学校が頑張ったことが浮き彫りになってきます。

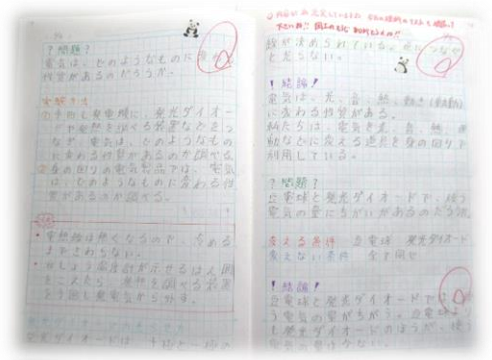


1 子供たちの学習に対する意識が変わり、自己学習力が育ってきた。自主学習が基礎基本の定着につながった。家庭学習が充実してきた。

特に高学年の学習に対する目の色が変わってきたように感じます。与えられてする学習はなかなか定着にはつながりませんが、自分で自分のためにする学習は必ず力になります。

「自己学習力」こそ学力向上のヒントと思ってきましたが、その成果ではないでしょうか。

また、「家庭学習の手引き」を新たに配布し、それぞれ学年の目標を明確にしながらご家庭の協力をいただきました。これが大きな成果につながったと実感します。家庭学習をがんばった子供たちの学力が、軒並み伸びてきているのです。



2 職員が一丸となって「授業改善」に取り組んだ。

職員は、現在の学習指導要領の目標に迫るように、日々わかりやすい授業を心がけ、努力してきました。また校内研究をとおして、そんな授業をどのように行うか授業改善の研修をしてきました。今年度取り組んだのは「わかった感・できた感を実感できる授業づくり」です。特に対話によって自分の考えを広げたり深めたりする活動を仕組んできました。「わかったつもり」ではなく本当に「わかる」まで、職員も子供たちも真剣に取り組んだのです。

3 「問題」に慣れてきた。

学力調査は、日頃の単元テストのような単純ですぐに終わる問題ではなく、冊子になっていて難しい読み取りのなかで問題を解決していきます。まず何が問題かを読み取らないといけません。そんな問題の出し方に、4月の経験（2～6年生の各学力調査）や練習を通して、子供たちも少し慣れてきたものと思われます。時間配分も考えなければなりませんし、長い問題をあきらめずに最後まで読み解く体力も精神力も必要です。そんな問題に対する慣れができてきて、子供たちの実力が発揮できるようになってきたものと思われます。

4 自信がついてきた。

授業の様子を見てみると、どのクラスでも教えあう姿が見られます。特に教えてあげている子供たちの顔は生き生きとしています。宿題や自学をがんばった子供たちは、単元テストの成績も向上してきました。そんな子供たち自身の頑張りに対する手ごたえが自信になってきたのでしょうか。自

信は更なる意欲につながります。今回の結果でますます自信をつけてほしいと思っています。

他にも「ICTの活用」「読書量の向上」「チャレンジタイムの成果」等、いくつも手立てや手ごたえがありますが、そんな小さな手ごたえが少しずつ起因して、少しずつ学力向上の成果につながっているのでしょう。これからも大切に指導を続けていきたいと思っています。

次への課題は……？

学力向上と言っても、正直まだまだです。全学年が全国平均に届くようになればうれしいものです。では、更にどんなところをがんばればよいのでしょうか？

1 「文章を読み解く力」です。

「全国学力調査」をはじめ今回行ったような学力調査の問題は、1ページ目から長文が続きます。「読むこと」が苦手な子供は「読み取ること」ができません。読み取れず問題の意味が分からないと回答のしようがありません。読み取る力は、国語だけでなく全教科に影響します。普段から長文を読む練習が必要です。本校の読書量はまだまだ足りません。目標、一人100冊を目指して頑張っているところです。

2 「思考力」です。

育ちつつありますが、個人差も大きいところです。普段の生活の中で「考える」ことを積み重ねていると生活経験が知恵となってその子の中に蓄積されていきます。生活経験こそが大切な学びの場です。子供たちにどんどん考えさせたり任せたりして、生活の思考力を鍛えていってください。

3 一番大事なものは精神力・集中力。

今回感じたのは「努力する子は伸びる」という当たり前のことです。これは「努力しないと伸びない」ということにも通じます。(天才肌の人もいるかもしれませんが、そんな人はごく僅かでしょう)では、どんな人が努力できるのか。大事なものは当たり前のことを当たり前に行き、我慢する心を持つことです。日々の生活の中で精神力や集中力を身に付け、学力向上をとおして将来自分の夢を叶える力にもしてほしいと思っています。

今回ご紹介した成果や結果は「学力調査」という一部のものですので、これがすべてではありません。しかし、これも学力の一部です。学校で過ごす時間の大半は「学ぶ時間」なのですから、学習することが楽しい方が良いでしょう。今回の結果を是非自信や励みにしてほしいと思います。

頑張った子供には思いっきり賞賛を！力が及ばなかった子供には愛情深い激励を！！学校と家庭と地域と、心を合わせて子供たちを育てていきたいと思っています。これからもご協力、ご支援をお願いいたします。

6年生の総合的な学習「福井洞窟」について学んだことがWEB配信予定！その収録がありました。

6年生が1年間かけて学んできたことが今年度も形になります。実は2月20日に福井洞窟ミュージアムがオープンしたことを記念してフォーラムと記念講演が予定されており、その折に近隣・関係各学校の発表が行われる予定でした。しかし、コロナ禍で開催が変更となり、発表予定だった各学校の取組はWEBで配信されることとなりました。(いつからどのような配信となるか、詳しくはわかり次第ご連絡いたします)

本日10日、その配信動画の収録があり、市の担当の方と撮影のプロの方々がお越しになりました。とても緊張した面持ちの6年生でしたが、結果は1発OK！子供たちが十分練習して準備し、思いをもって真剣に頑張りましたので、1回で無事に撮り終えることができました。

プロの方々から「感動した」と言ってもらい、1年間活動を支えていただいた柳田さんの目にはうっすらと光るものがありました。今回の件が、子供たちの大きな成功体験となってさらに成長を促してくれることでしょう。配信がとても楽しみです。

